

「食のリスクコミュニケーション意見交換会」パネルディスカッション資料

全大阪消費者団体連絡会
事務局長 飯田秀男

1. 大阪府民の思いは～「食の安全・安心について」の調査結果から～

2. “リスク分析”を定着させるために求められるものは

① “リスク”に対する正確な理解を

「食の安全に関するリスク」「健康に関するリスク」「災害に関するリスク」は同等？

②情報の公開性

提供者：「パニックになるから無用な心配を与えてはいけない」「国民は科学のことがわかるのか」
「たくさん情報提供すれば理解が得られる」「詳しく説明すれば合意が得られる」

③決定・執行過程の透明性

消費者：「結果だけ見えてもわからない、信頼できない」

④政策決定過程への参加

消費者：「結論だけを聞いて公正に決められたと判断できない」

「実施に向けて参加しようとならない」

行政：「情報を提供し説明すれば十分である」

「感情だけで意見を言ってまとまらないのではないか」

3. 消費者の権利が確立してこそ生きたリスクコミュニケーションが可能に

全国消費者団体連絡会が提起した“消費者の権利”

- ① 安全が確保されること
- ② 必要な情報を得られること
- ③ 適切な選択を行えること
- ④ 公正な取引条件により消費者取引を行えること
- ⑤ 被害の救済が受けられること
- ⑥ 消費者教育を受けられること
- ⑦ 消費者政策に意見が反映されること
- ⑧ 消費者団体を組織し、行動できること

4. リスクコミュニケーションを促進するために

①情報の公開ルール・仕方を明確に（提供者の裁量に任せていいのか）

②議論・決定過程への参加によって参加意識を高めること

5. 問題提起として～食品安全委員会の政策課題～

「科学的知見に基づく」「未然防止」から「予防原則に基づく防止措置」へ

平成15年度 インターネット府政モニター・アンケート
「食の安全・安心について」の調査結果より（抜粋）

<調査の概要>

1 調査目的	府民の「食の安全・安心」に関する意識、行政や事業者に対するニーズ等を調査し、「食の安全・安心大阪府民会議(仮称)」での議論の参考とするなど今後の施策に役立てる。
2 調査項目	1 現在流通している食品が安全・安心だと思うか 2 食品が安全・安心だと思わない理由 3 食に対する不信を招いた原因は 4 食の安全・安心確保のために何が必要かなど11項目。 ※ その他の調査結果については、こちらをクリックしてください。
3 調査時期	平成15年5月
4 調査対象	平成15年度インターネット府政モニター(ネットバル) 500名
5 調査方法	インターネット
6 回答者数	471名(回収率 94.2%)

<調査結果の概要>

◆「食品が安全・安心だと思わない」が約7割

●産地や賞味期限の偽装表示、無登録農薬の使用、残留農薬など食についてのさまざまな問題が発生しています。

現在流通している食品が安全・安心だと思いますか。(○(まる)は1つだけ)

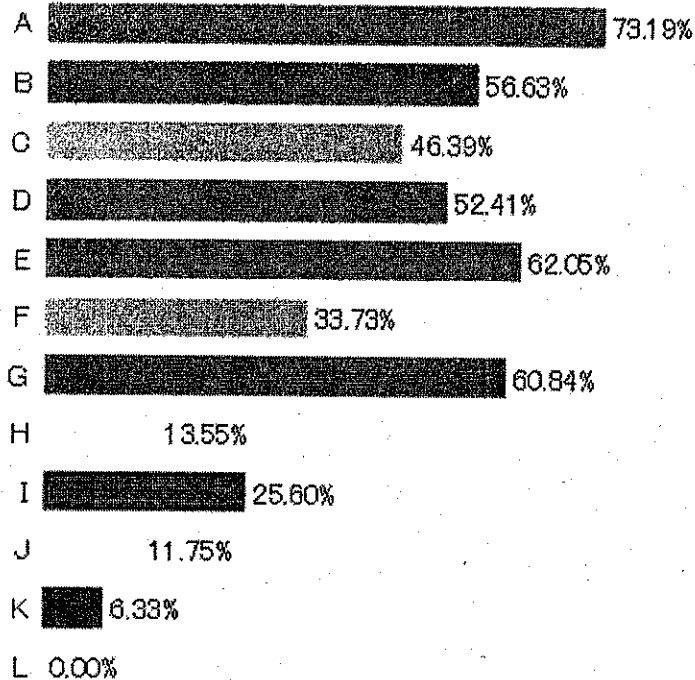


- A 安全だと思う (0.42%)
- B おおむね安全だと思う (28.45%)
- C あまり安全だと思わない (58.81%)
- D まったく安全だと思わない (11.68%)
- E 特に気にしていない (0.64%)

◆安全・安心だと思わない理由は「農薬の不適正使用」が7割以上
 「添加物の不正使用」、「偽装表示」がそれぞれ6割以上

(「あまり安全だと思わない」「まったく安全だと思わない」をお選びの方のみお答え下さい)

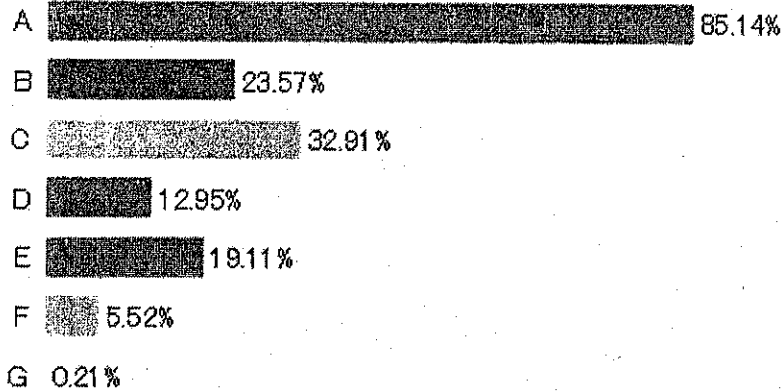
●食品が安全・安心だと思わない理由は以下の項目のどれですか(1つ以上5つまでお選びください)



- A 農薬の不適正使用 (73.19%)
- B 食肉や卵・魚介類に使用される抗生物質などの残留 (56.63%)
- C 内分泌攪(かく)乱物質(ダイオキシン、PCB、いわゆる環境ホルモン等) (46.39%)
- D 原材料として輸入品を使った場合の安全性 (52.41%)
- E 添加物の不正使用 (62.05%)
- F 遺伝子組換え作物の使用 (33.73%)
- G 原産地や賞味期限等の偽装表示 (60.84%)
- H 異物の混入(製造工程中の毛髪、プラスチック片の混入など) (13.55%)
- I 不衛生な取り扱い(有害微生物であるO157やサルモネラの混在) (25.60%)
- J 冷凍・冷蔵食品の保存温度 (11.75%)
- K その他 (6.33%)
- L わからない (0.00%)

◆食の不信を招いた原因は「生産者や企業のモラル低下」が約85%

●一般的に食に対する不信を招いた原因は何だと思われますか(1つ以上2つまでお選びください)

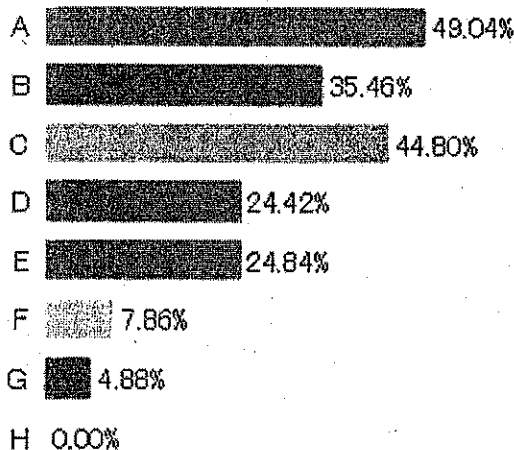


- A 生産者や企業のモラルが低下している(85.14%)
- B 法令が不備である(23.57%)
- C 行政の取り組みが不十分である(32.91%)
- D 消費者の意見が行政の施策に反映されていない(12.95%)
- E 消費者の意見が生産者・事業者には反映されていない(19.11%)
- F その他(5.52%)
- G わからない(0.21%)

[【ページの先頭へ戻る】](#)

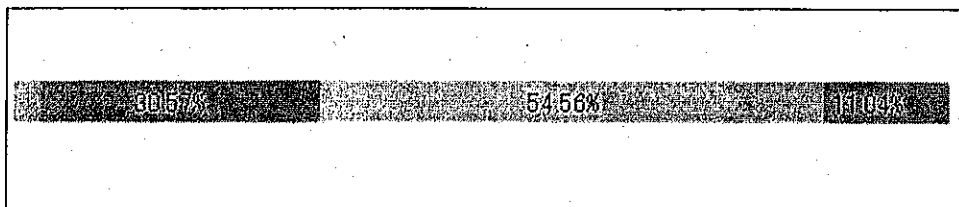
◆「食の安全・安心確保のためにトレーサビリティ(生産から販売までの食品の履歴を追跡するシステム)の実施が必要」が約5割

●食の安全・安心確保のために、何が必要だと思いますか(1つ以上2つまでお選びください)



- A トレーサビリティ(特記1)の実施(49.04%)
- B 消費者の知識向上(35.46%)
- C 行政による監視強化(44.80%)
- D 消費者による監視(24.42%)
- E 事業者の自主的な規制(24.84%)
- F 地産地消(特記2)(7.86%)
- G その他(4.88%)
- H わからない(0.00%)

1 食品の表示を信用していますか
(○(まる)は1つだけ)

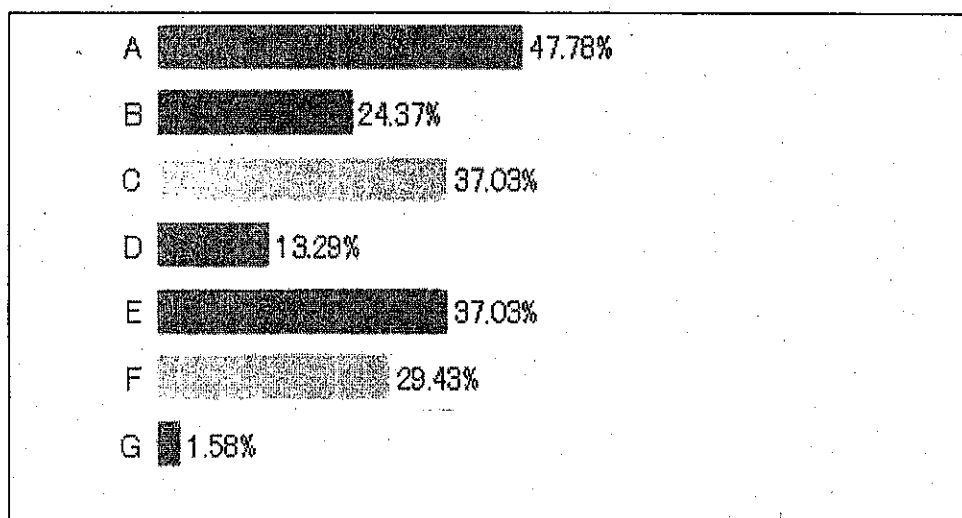


- A 信用している (2.34%)
- B おおむね信用している (30.57%)
- C 半分くらいは信用している (54.56%)
- D ほとんど信用していない (11.04%)
- E 全く信用していない (1.49%)
- F わからない (0.00%)

[その他の調査結果のページに戻る](#)

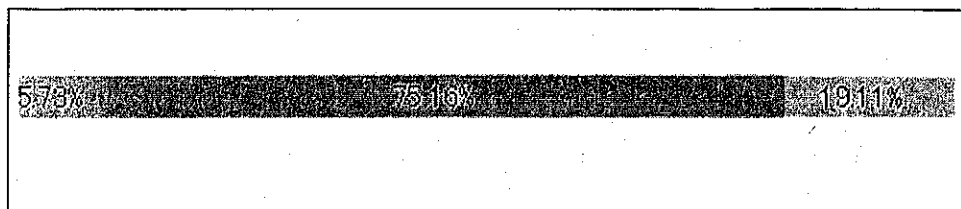
(「半分くらいは信用している」「ほとんど信用していない」「まったく信用していない」をお選びの方のみお答えください)

1-1 特に何の表示が信用できませんか
(1つ以上2つまでお選びください)



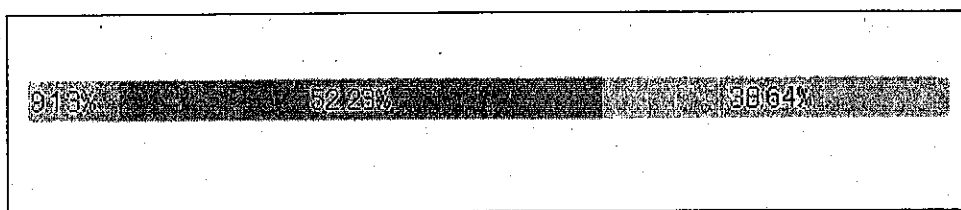
- A 原産地の表示 (47.78%)
- B 名称・原材料名の表示 (24.37%)
- C 賞味期限などの期限表示 (37.03%)
- D 遺伝子組換え (13.29%)
- E 添加物表示 (37.03%)
- F 有機栽培・減農薬栽培である旨の表示 (29.43%)
- G その他 (1.58%)

3 あなたは最近の事業者(生産者、製造・加工者、販売者など)の消費者への情報提供(食品表示、健康被害等の情報提供など)についてどう思いますか
(○(まる)は1つだけ)



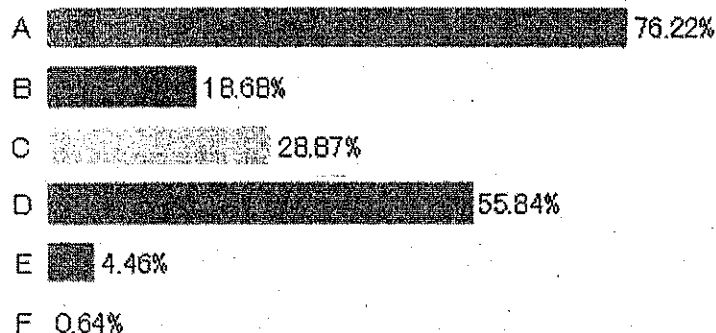
- A 十分 (5.73%)
- B 不十分 (75.16%)
- C わからない (19.11%)

4 あなたは最近の事業者(生産者、製造・加工者、販売者など)の消費者からの苦情相談への対応(お客様相談センター、相談フリーダイヤルの設置など)についてどう思いますか
(○(まる)は1つだけ)



- A 十分 (9.13%)
- B 不十分 (52.23%)
- C わからない (38.64%)

7 事業者は、法令を守ることはもとより、特に今後どのような点に力をいれていくべきだと思いますか
(1つ以上2つまでお選びください)



- A 消費者に対する情報提供を積極的に行う (76.22%)
- B 相談窓口を充実する (18.68%)
- C 消費者モニターを充実する (28.87%)
- D 製造工程を積極的に消費者に公表する (55.84%)
- E その他 (4.46%)
- F わからない (0.64%)